



2023年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

株式会社 鶴見製作所
証券コード：6351

〈2023年 2月 9日〉

2023年3月期 第3四半期

- 国内部門：CO2排出量を削減する環境に配慮した電極式水中ポンプや高圧洗浄機の売上が好調
省エネ省人化製品の需要が増加
豪雨対策等のインフラ整備関連事業の受注拡大
- 海外部門：北米の鉱山市場が活況
アジア市場のインフラ設備市場での需要増加傾向
- 2023年3月期の連結業績予想数値を上方修正
(2022年11月8日 開示済み)
- 事業上の課題
資源価格の高騰、物価上昇→国内生産や輸出入の影響大、エネルギー価格の上昇、サプライチェーンの混乱、景気減速の警戒感

2023年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト

Point

- 海外子会社が好調→主に香港、シンガポール、台湾
- 連結対象子会社の増加要因も加わり、増収増益

	第3四半期累計	前年同期比	通期予想
■ 売上高	394億円	+51億円	550億円
■ 営業利益	50億円	+14億円	57億円
■ 経常利益	66億円	+20億円	75億円
親会社株主に帰属する ■ 当期純利益	44億円	+12億円	49億円

※今期よりタイ・ベトナム・テクノロジーサービス北條を連結の範囲に含めております。

2023年3月期 第3四半期 連結実績

Point

- 営業利益は海外向け販売が好調
- 経常利益は円安に伴い増益

(単位:百万円)	2022年	第3四半期 累計	2023年		増減	
	第3四半期 累計		通期予想	進捗率	金額	%
売上高	34,277	39,427	55,000	71.7%	5,149	15.0%
売上総利益	11,375	14,301			2,925	25.7%
販売費及び 一般管理費	7,766	9,231			1,465	18.9%
営業利益	3,609	5,069	5,700	88.9%	1,460	40.5%
営業外収益	954	1,775			821	86.1%
経常利益	4,548	6,635	7,500	88.5%	2,086	45.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,216	4,421	4,900	90.2%	1,204	37.4%
対米ドル(円)	115.01	132.71				

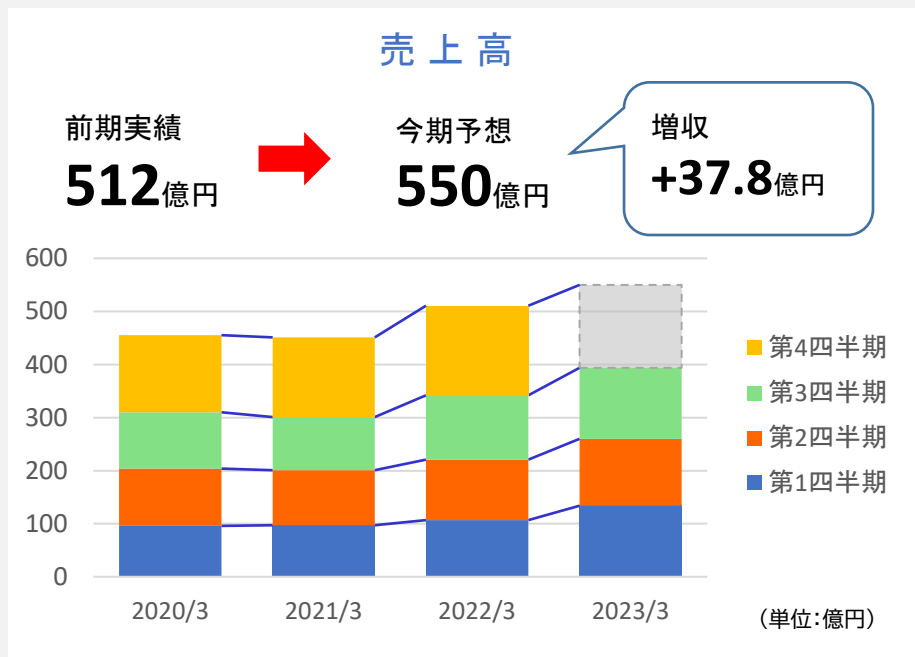
参考 為替レート

(期末レート(1USD) 2022/3末 122.41円)

連結貸借対照表

(単位:百万円)	2022年 3月末	2022年 12月末	増 減
資産合計	87,299	94,628	7,329
流動資産	52,940	57,851	4,911
固定資産	34,359	36,776	2,417
負債合計	15,451	18,267	2,816
流動負債	12,717	15,614	2,897
固定負債	2,733	2,653	▲80
純資産合計	71,848	76,360	4,512
自己資本比率	81.1%	79.3%	▲1.8%

売上高推移表（連結）



Point

- 上期の海外部門での業績好調により今期予想を上方修正
- 国内における環境に配慮した電極式水中ポンプの売上が好調
- 北米を中心とした建設市場・鉱山市場での活発な需要が継続
- 東南アジアでのインフラ整備市場が引き続き堅調

営業利益推移表（連結）

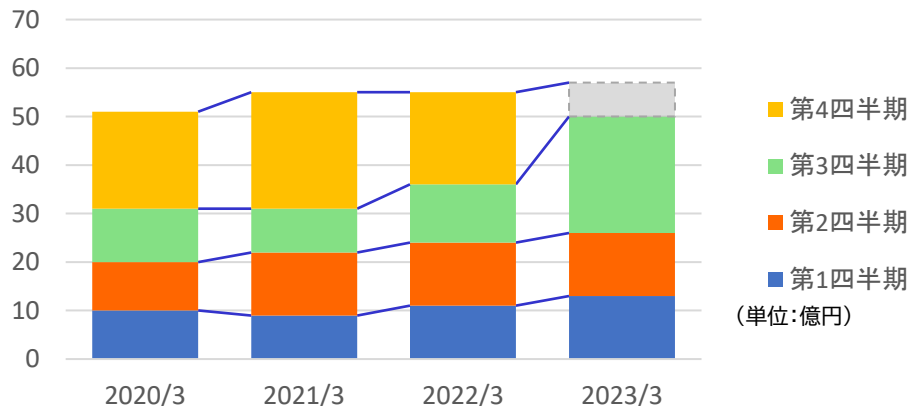
営業利益

前期実績
55億円



今期予想
57億円

増益
+2億円

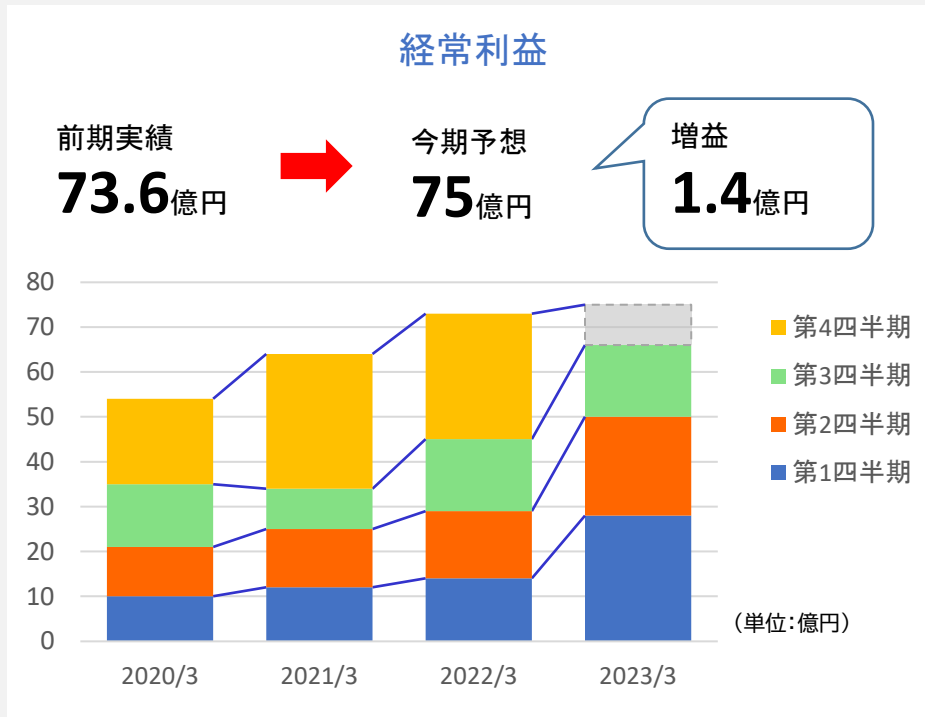


Point

■海外向け販売が好調であったことや、急激な円安に伴い、円換算後の外貨建ての売上・利益が上振れした影響等により、前年比40.5%の増益

■引き続き部材価格の高騰と販管費（特に物流経費）の増加傾向は続いており、急激な為替レートの変動などもあり懸念材料も多い

経常利益推移表（連結）



Point

- 今期予想を上方修正
(急激な為替レートの変動による要因大)
- 為替レート(円安)の影響により、
経常利益は前年比45.9%の増益

売上高・営業利益（需要先別）

Point

- 国内部門：売上は、前年同期比1.7%の増収、原材料価格や物流費の高騰などの要因はあるものの急激な円安の影響もあり営業利益は前年同期比28.3%の増益
- 海外部門：北米・東南アジアの売上高・営業利益が伸長

（単位：百万円）

	2022年3月期 第3四半期累計		2023年3月期 第3四半期累計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
国内部門	23,679	2,983	24,084	3,825
前年増減率	+3.7%	+13.3%	+1.7%	+28.3%
海外部門	10,598	1,612	15,342	3,190
前年増減率	+43.2%	+48.8%	+44.8%	+97.9%
合計	34,277	3,609	39,427	5,069
前年増減率	+13.4%	+14.5%	+15.0%	+40.5%

地域別売上高

Point

- 国内部門:環境に配慮した電極式水中ポンプや省エネ省人化製品の売上が好調、豪雨対策等のインフラ整備関連事業の受注拡大
- 海外部門:北米・東南アジアでの建設市場・鉱山市場の活発な需要により伸長

(単位:百万円)

	日本	海外全体	海外内訳			合計
			北米	東南アジア	その他	
2023年3月期 第3四半期累計	24,084	15,342	9,125	4,401	1,815	39,427
2022年3月期 第3四半期累計	23,679	10,598	6,494	3,022	1,081	34,277
2021年3月期 第3四半期累計	22,839	7,399	4,372	1,999	1,026	30,239
2020年3月期 第3四半期累計	22,491	8,563	5,115	2,140	1,307	31,055

※:今期より、東南アジアにベトナム・タイ、日本に㈱テクノロジーサービス北條を追加しました。
 ・「その他」の区分は、中国の現地法人の事業活動を含んでおります。
 ・グループ内取引の消去後の数字です。

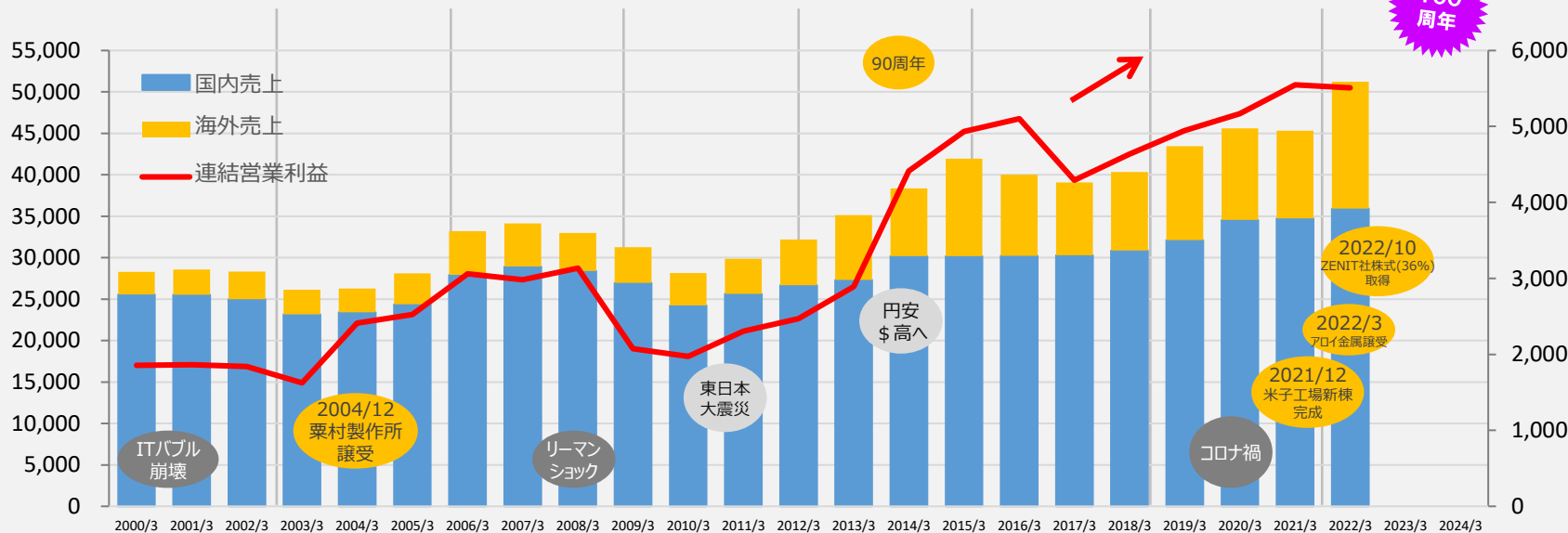
株価の状況と配当



	年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
1株当たり 配当金 (円)	中間配当	10	12	12	13	14	14	15	18
	期末配当	10	12	12	13	20	20	21	22
	記念・特別配当	5			5		2	4	4
	年間配当	25	24	24	31	34	36	40	44

過去20年の連結売上高と営業利益

百万円



	Σ2003	NS2006	a2009	Revolution 2012	Acceleration 2015	Execution 2018	BASE100	NEXT100
テーマ	水中ポンプのリーディングカンパニーへの挑戦	新しい時代への変革	より付加価値のある技術・製品・サービスの提供を目指すグローバル企業へ	技術志向型企業への変革	グローバルスピード3倍速の実現	取組み課題を着実に実行し、期日内に、確実に、結果を出す	次世代への礎づくり	2024年の創業100周年へ向けて、さらに次の100年企業へ
副題	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	従来からのグローバル戦略の加速度的な発展を通じ、世界市場のポジションングを狙う！	グローバルグループとしての確固たる体制を築き、建機の優位性を保ちながら、設備市場を深耕する	2024年の創業100周年へ向けて、さらに次の100年企業の礎となる事業基盤を確立する	施策を確実に実行し、目標必達する